

～祈りの人が用いられる～

神はご自分の働きをされるとき、100% 神のみこころを行える天使ではなく、あえて、神の命令に背き、エデンの園を追われ、罪を犯し、その弱さの中に閉じ込められてしまうような、役に立たない私たちを用いて、働きを成そうとしておられるのです。

今回、私たちはアブラハムの歩み、彼に対する神の訓練を通して、神様の役に立つものに変えられることを学びたいと思います。

今日の聖書の学びの要点

- ・ 私たちも予期しない試練に遭い、苦しむことがありますが、いつも神の前に祈りの祭壇を築き、神様の助けと導きを待ち望む者となりましょう。
神様は必ず神の最善に導いてくださいます。

I、神に頼る

1、アブラハムの人生には、いつも祈りの土台がありました。

アブラハムの祈りの歩みから、彼が変えられていく過程を見ていきましょう。

①偶像礼拝のカルデアのウルを離れ、父テラと共にハランに行き(創 12 : 4)・・・

- ・ 主のみことばに従った

②カナン人のいる、カナンの地に着いて (創 12 : 6)・・・

- ・ 他国人のように住んだ(ヘブル 11 : 9)

2、荒野でのアブラム(アブラハム)は、どのような生き方だったのでしょうか。 (創 12 : 8)

- ・ カナン人と同化せず、神のみを当てにして旅をした

Ⅱ、祈りの祭壇が築かれないとき

1、神様に従って着いたネゲブで、アブラム(アブラハム)に思いがけないことが起きました。彼はどうしたのでしょうか。 (創 12 : 10)

※主権は神様にあります。私たちに試練が与えられるときが来ます。

- ・ 祈った通りにならないのは、神様の意地悪なのか？
- ・ 次の段階へのステップアップへの助走の時なのか？

2、神の恵みに与った者が、神から離れると、どうなってしまうのでしょうか。

①アブラム(アブラハム)に不安と恐れが襲いました。彼はどうしたのでしょうか。
(創 12 : 11,12)

②アブラム(アブラハム) はサライ(サラ) によって豊かになりましたが、エジプトの王の家はどうなりましたか。その原因は何でしょうか。 (創 12 : 15～17)

③エジプトから追い出されたアブラム一家ですが、神様の守りにより、彼らはどのようになりましたか。 (創 12 : 17～20、13 : 2)

Ⅲ、祈りの祭壇を築き直す

1、約束の地に戻ったアブラム (アブラハム) はまず、何をしましたか。
(創 13 : 4)

①悔い改めたなら、信仰の原点に立ち返る。

②主との交わりが回復するとき、人は変えられることができます。

- ・ ロトに先を譲った。(自己主張をしない) (創 13 : 9～11)
- ・ 約束の地カナンに住み、祈りの祭壇を築いた。(創 13 : 14～18)